



解除通知を手にする加藤さん



私しや、病気でも暮らしでも負けな  
いよ、負けないよ」と力強く決  
意を語ってくれました。

病気や生活が苦しくて国民健  
康保険税を納められず、国民健  
康保険の資格者であるという  
「資格証明書」を出されている  
人が多くなってきました。資  
格証明書は医療保険証でありま  
せん。そのため病院に行くこと  
も控えてしまいます。

静岡県・掛川市

静岡県掛川市の掛川北生活と健康を守る会の加藤文子さん(78)は国民健康保険税や市民税を滞納して家賃収入(月額5万円)を市の納税課に差し押さえられていました。

加藤さんは、病院でがん治療を受けています。定期的に入院や検査が必要です。加藤さんか

ら「せめて、3カ月分の家賃収入の差し押さえをやめてもらいたい」と相談がありました。早速、役員と勝川しほ子市議(共産党)とで市の納税課に行き「交渉」しました。

### 粘り強く市と交渉

「これは人権問題だ。差し押さえの条件からも問題ある」と数回にわたり交渉し、市の納税課から「換価の猶予」(分納など納税緩和制度)を適用させ、3カ月間の差し押さえが解除されました。

加藤さんは「このお金をもって、安心して病院に行ける」私しや

病気でも暮らしでもあきらめないよ、負けないよ」と力強く決意を語ってくれました。

病気や生活が苦しくて国民健康保険税を納められず、国民健康保険の資格者であるという「資格証明書」を出されている人が多くなってきました。資格証明書は医療保険証でありません。そのため病院に行くことも控えてしまいます。

### 2カ月に1度、集団納付

3年前から、1度に払えない国民健康保険税を年金受給月(2カ月に1度)に、市に集団納付をしています。毎回2人から3人が参加して、払える金額を納めます。そして、短期保険証(有効期間2〜3カ月)を交付させています。

掛川市は加藤さん以外にも495件もの差し押さえ(2018年3月実績)をしています。生活に困窮する世帯をさらに窮地に追い込み、健康、命を脅か

す取り立てや差し押えをやめさせる必要があります。

### 高すぎる国保料・税金

厚労省が国民健康保険事業に「収納率の向上や医療費削減」の努力を判定して成果を上げている県、市町村に「調整交付金」の比例配分をしています。特に収納率向上の点数評価が高く、短期保険証や資格証明書、差し押さえ件数の競争に、拍車がかかる危険を感じます。

全国知事会では、公費を1兆円投入して、国保料を協会けんぽなみに引き下げを提案しています。

消費税10%は、生活苦を増やすだけです。中止させたい。国・自治体が暮らしを応援する政治に転換することも求められています。ますます頑張らなければ犠牲者が増えると思います。

(掛川北生活と健康を守る会  
会長 水谷 陽一さん)